

平成19年度 予算特別委員会 どう使われる総額192億円

会計別予算額		
会計等区分	予算額	前年度比
一般会計	89億2,583万8千円	△ 6.4%
特別会計の内訳	国民健康保険事業	32億6,883万2千円 9.3%
	財産区	10億6,513万9千円 △ 1.5%
	老人保健医療事業	21億5,622万9千円 △ 1.2%
	下水道事業	10億5,937万8千円 5.7%
	介護保険事業	14億8,464万4千円 0.2%
特別会計の計	90億3,422万2千円 3.4%	
水道事業会計	12億5,943万8千円 19.9%	
総額	192億1,949万8千円 △ 0.6%	



野添であい公園

平成19年度予算は、予算特別委員会を設置し、3月14日から19日までの間で各会計を詳しく審査しました。一般会計予算では修正可決し、他の会計予算は全て原案どおり可決しました。委員会での質疑の一部を要約してお伝えします。

Q 公民館料理室の不具合は

公民館の料理室は、ガスコンロが不具合になっている。排水も詰まり逆流している。活動が出来ないのでは。

A 中央公民館とは、定期的に会合をもっているが、この話は聞いていない。早速調べて対処していきたい。

Q 「コミュニティバス」は

①コミュニティバスの導入に多額の調査費が当てられているが不要では。もっと団塊の世代の活用などを考慮すべきと思うが。
②障害者の利用や赤字対策として、加古川市の100円バスにつなぐなど、検討すべきでは。

A ①定時制を確保したコミュニティバスの導入にあたっては、行政として後戻りのできない姿勢で検討を進めることが重要だと考える。
年度中の早い時期に実施計画をまとめて、「地域公共交通会議」を設置し、導入を検討する。
②小型のバスで高齢者の福祉を考え実施しようとしている。今後すべてを含んだものを研究したい。

Q 「水産業振興事業は

本荘貝の試験放流を行っているが環境の良化がない限り期待できないのでは。

A 平成17年度に放流したものが定着しており、増殖を続けるのではないかとと思われる状況にあり、今後の様子を見守りたい。

Q 防犯施設の交番整備は

従来からの「町内の交番を統合し播磨町駅周辺に警察署の分署的交番の整備を関係機関に要請する。」におけるその後については。

A 平成18年1月に加古川警察署長より、「現時点で播磨町駅前に設置することは適当でない。今後、JR土山駅前再開発が予定されていることなど、地域事情の変化に十分配慮し、付近の交番の再編を含めて、中・長期的に検討していく方針」との回答。

Q 土山駅南開発事業の状況は

① 事業補助金の内訳と事業の推進の考え方は。商工会との打合せはどうなっているのか。
② 「フロンティアはりま」の今後は。

A ①人件費、事務費、設計費である。今期の前半で計画を決定し、事業化を推進したい。担当者間で打合せを行っている。
②存続の考え方は変わらないが、株主総会で町長自ら説明をする。

Q 学校施設利用の無料化を

児童が放課後や休日に学校施設を使ってクラブ活動をした場合でも、使用料を取っているが無料化にできないか。

A 受益者負担を公平にするために全ての公共施設の利用には、使用料を負担していただいている。児童の使用料は半額としているが、それでも負担が重いとの声もあり、今年度の改定時に検討したい。

Q 給食食器の安全性は

以前、学校給食に使われている食器による環境ホルモンが問題として報道されたが、現在使われている食器は。

A 現在は、ポリエチレンナフタレート(PEN)樹脂の食器を使用しており、厚労省が安全と発表している。5年ごとに食器の入れ替えをしている。

Q 北小児童の支援策は

播磨北小学校の児童244名が3つの小学校に転校し、人数が増えるクラスもありますが支援策は。

A 県事業で小学校3年まで35人学級が実施される。町単独で教科専門指導教諭を11名、スクールカウンセラーを2名、スクールアシスタントを2名、新学習システム推進の教員を6名程度配置の予定。

Q 保育料増収の原因は

保育料が前年度と比べて約1300万円の増収になっているがその原因は。

A 平成18年秋に播磨中央保育園が増改築され、定員を30名増加し120名となったため。また、定率減税廃止の影響で保育料が値上げにならないように徴収規則を変更した。